

令和3年度

# 学校要覧



## 和歌山県立みはま支援学校

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田字松原1138の259  
TEL 0738-23-2379 FAX 0738-22-9399  
E-mail postmaster@mihama-sh.wakayama-c.ed.jp

# みはま支援学校校歌

保田勝治 作詞  
打垣内 正 作曲



みどりのかぜに くさかおる えんじゅがはまよ まつばらよ



みんなでかたを くみあって たしかめあおう いのちのひ あた



らしいよ に の - ぞ みも - ち あか



る くあるこう みは - ま の こ

一、緑の風に 草薫る

煙樹ヶ浜よ 松原よ

みんなで肩を 組みあって

確かめあおう 生命の火

新しい世に のぞみ持ち

明るく歩こう みはまの子

二、遥かに碧く 浪光る

大海原よ 砂浜よ

みんなでここに 集まって

ともに開こう 文化の扉

豊かに生きる 願いこめ

楽しく励もう みはまの子

三、真赤に燃えて 陽に映える

西山並よ 日の山よ

みんなで瞳 輝やかせ

追い求めよう 平和の灯

心と体 逞しく

未来をめざそう みはまの子

# 目 次

|    |                  |    |
|----|------------------|----|
| 1  | 教育の概要            | 1  |
| 2  | 学校沿革概要           | 1  |
| 3  | 令和3年度 みはま支援学校の教育 | 3  |
| 4  | 職員構成             | 4  |
| 5  | 学級数・児童生徒数        | 5  |
|    | (1) 学級数          |    |
|    | (2) 学部学年別児童生徒数   |    |
|    | (3) 出身地別児童生徒数    |    |
| 6  | 教育課程             | 6  |
| 7  | 教育相談             | 15 |
| 8  | みはま支援学校の対象児童生徒   | 16 |
| 9  | 進路指導             | 17 |
| 10 | 校務分掌表            | 19 |
| 11 | 年間行事計画           | 20 |
| 12 | 防災計画             | 21 |
| 13 | 施設配置図            | 23 |

# 1. 教育の概要

本校は、昭和54年に設立された和歌山県唯一の病弱教育を行う特別支援学校である。県立自然公園「煙樹ヶ浜」の松林の中にあり、療養しながら教育を受けるには最適の環境にある。

本校では、独立行政法人国立病院機構和歌山病院や国保日高総合病院及び連携できる他の医療機関に入院または通院の病弱虚弱児・重度重複障害児（重心児）の教育を行っている。

病類は、脳性まひ、難病疾患、精神疾患など多岐にわたり、病状（障害）等も多様である。そのため、児童生徒一人一人の実態を的確にとらえ、個に即した教育を行い、すべての児童生徒の成長・発達を期すよう努力している。

なお、近年、病気（障害）の重度重複化や心身症による不登校、発達障害等に起因する社会不安症などの二次障害を有する児童生徒の増加が著しく、新たな課題が生じている。

# 2. 学校沿革概要

昭和 49. 6. 日高地方病弱・虚弱養護学校設置について郡内各市町村において陳情のための署名運動を始める。

49. 12. 23 県議会において、上記請願が採択される。

52. 3. 31 国立療養所和歌山病院敷地の一部を学校建設用地として買収する。（6,600 m<sup>2</sup>）

53. 8. 10 起工式を挙げる。

54. 1. 22 学校教育課に仮称みはま養護学校開校準備室が設置され、開校準備に着手する。

54. 3. 23 校舎が完成する。（1,789 m<sup>2</sup>、3階建）

54. 4. 1 初代校長保田勝治以下、職員24名（他に講師〔非〕10名）発令され着任する。

54. 4. 10 第1回入学式を挙げるし、児童生徒82名の入学を許可する。

56. 9. 19 体育館の起工式を挙げる。

57. 3. 31 体育館、重心教室、職員更衣室の工事が完了する。

58. 4. 1 初代校長保田勝治退職。第二代校長に井上芳朗が発令される。

58. 11. 21 創立5周年記念行事を挙げるし、物故児童生徒の霊を弔うと共に、記念誌を発行する。

59. 3. 31 教材制作室が完成する。

60. 7. 24 第21回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育連盟総会・研究発表大会が本校を主管校として開催される。

60. 9. 17 職員室、事務室、校長室を改造、玄関庇増築、玄関ドア取替をする。

61. 8. 19 第8回全国重症心身障害児教育担当者研究協議会・研究発表会が本校を主管校として開催される。

63. 3. 31 閉回路テレビ設置工事が完成する。

63. 4. 1 第二代校長井上芳朗退職。第三代校長に森田淳三が発令される。

63. 6. 20 創立10周年記念誌「みはま」を発行する。

平成 2. 4. 1 第三代校長森田淳三退職。第四代校長に森下尚彦が発令される。

4. 3. 31 室内プールが完成する。

4. 4. 1 第四代校長森下尚彦退職。第五代校長に中山浩顕が発令される。

4. 4. 1 高等部が設置される。

4. 4. 10 高等部第1回入学式を挙げるし、5名の入学を許可する。

6. 2. 8 創立15周年記念誌「みはま」を発行する。

- 平成 7. 4. 1 第五代校長中山浩顕転任。第六代校長に佐古安男が発令される。
8. 3. 29 渡り廊下が完成する。
9. 2. 25 インターネットを接続する。
9. 3. 31 遊歩道が完成する。
10. 3. 31 公用車車庫兼倉庫が完成する。
10. 4. 1 高等部普通科を設置する。
11. 7. 22 第35回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究発表大会が本校を主管校として開催される。
12. 4. 1 第六代校長佐古安男退職。第七代校長に坂本晏宏が発令される。
12. 10. 10 校舎外部大規模改造工事が完成する。(1788.81 m<sup>2</sup>)
13. 3. 9 エレベーター取替工事が完成する。
13. 10. 29 校舎内部(1期)大規模改造工事が完成する。
14. 1. 31 教育ネットワーク整備事業が完成する。
14. 4. 1 第七代校長坂本晏宏退職。第八代校長に磯田弘志が発令される。
14. 9. 27 校舎内部(2期)大規模改造工事が完成する。
15. 3. 31 中庭整備工事が完成する。
17. 2. 24 重心教室大規模改造工事が完成する。
17. 4. 1 第八代校長磯田弘志退職。第九代校長に垣内邦夫が発令される。
19. 4. 1 第九代校長垣内邦夫転任。第十代校長に池田香弥が発令される。
20. 4. 1 校名がみはま養護学校からみはま支援学校に変更される。
21. 3. 31 避難スロープ設置工事が完成する。
21. 10. 1 創立30周年記念誌「みはま」を発行する。
22. 4. 1 第十代校長池田香弥転任。第十一代校長に垣内邦夫が発令される。
22. 10. 6 太陽光発電設備工事が完成する。
22. 12. 15 自家発電設備の設置工事が完成する。
23. 4. 1 第十一代校長垣内邦夫退職。第十二代校長に東中啓吉が発令される。
23. 9. 30 運動場整備工事が完成する。
23. 11. 10 第52回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会、第47回近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会が本校を主管校として開催される。
25. 4. 1 第十二代校長東中啓吉転任。第十三代校長に金田三恵子が発令される。
25. 11. 13 公共下水道接続工事が完成する。
25. 12. 5 合併浄化槽撤去。
27. 4. 1 第十三代校長金田三恵子退職。第十四代校長に上野晃が発令される。
30. 4. 1 第十四代校長上野晃退職。第十五代校長に松下幸嗣が発令される。
31. 4. 1 第十五代校長松下幸嗣転任。第十六代校長に東晋平が発令される。
- 令和 2. 4. 1 第十六代校長東晋平転任。第十七代校長に植野博之が発令される。

### 3. 令和3年度 みはま支援学校の教育

～安心できるこの場所で 希望をつかもう 明るい未来へ向かって～

#### 教育目標

児童生徒の心身の状態を医療機関と緊密な連携のもと、よりの確に把握し、一人一人の個性、能力特性に沿って、発達の可能性を最大限に求める教育を行い、病気や障害を改善または克服し、自信と希望を持って生き抜く人間性の育成に努める。

#### めざす学校像

- ・個々の実態や特性に応じた、持てる力と社会自立に向けての力を育成する。
- ・病弱教育の専門性を高め、県・地域の特別支援教育のセンター的役割を担う。

#### 令和3年度の重点目標

- (1) 病弱虚弱児・重度重複障害児のキャリア教育の推進
  - ・自己肯定感やQOLを高める教育支援の充実
  - ・県内でのセンター的役割を果たすと共に、関係病院との連携の充実を図る。
- (2) 地域における特別支援教育のセンター的役割の推進と充実を図る。
  - ・発達障害や2次障害を呈する子供への理解と支援
  - ・長期入院治療・療養を要する児童生徒への支援

#### 一学部

ア.人や物との関わりを通して、思いを伝える力を育てる。

イ.学習の基礎となる力を育て、学びに向かう意欲を培う。

ウ.病棟との連携を密にし、健康と体力の保持を図る

#### 二学部 (小学部・中学部)

ア.基本的生活習慣の確立を図り、基礎学力の充実と学習意欲及び体力の向上をめざす。

イ.学習活動を通して、経験を広げ、社会性を養い、自らの課題を克服する力を養う。

ウ.主治医、保護者および関係機関等との連携を密にした教育実践を行う。

エ.個々の生徒に対し、適切な進路指導方針を立て、その達成に努める。

#### 二学部 (高等部)

ア.学力の充実を図り、学習意欲及び体力の向上をめざす。

イ.学習活動を通して自己理解を高め、豊かな人間性を育てる。

ウ.主治医、保護者および関係機関等との連携を密にした教育実践を行う。

エ.個々の生徒に対し、適切な進路指導方針を立て、その達成に努める。

社会に開かれた教育課程

### 重点項目と具体的な取組

#### ①実態把握と授業づくり

- 病弱支援教育の専門性の向上
- 関係機関との連携の推進
- ケース会議や、学部研修等の充実

#### ②キャリア教育の充実

- 生活の質の向上
- 自己肯定感 自己有用感の向上
- 自立と社会参加のための支援

#### ③センター的機能の推進・充実

- 病弱支援教育の発信
- 教育相談、巡回相談等の充実と支援共有
- インクルーシブ教育の推進

## 安心・安全な学校づくり

## 4. 職員構成

| 職 名             |       |
|-----------------|-------|
| 校 長             | 1 名   |
| 教 頭             | 1 名   |
| 教 諭             | 3 9 名 |
| コ ー デ ィ ネ ー タ ー | 1 名   |
| 養 護 教 諭         | 1 名   |
| 講 師             | 4 名   |
| 実習助手（学校司書）      | 1 名   |
| 実習助手（理学療法士）     | 1 名   |
| 事 務 長           | 1 名   |
| 主 査             | 2 名   |
| 副 主 査           | 1 名   |
| 校 務 員           | 1 名   |

| 職 名                     |       |
|-------------------------|-------|
| 学 校 看 護 師               | 2 名   |
| 学 校 業 務 補 助 職 員         | 1 名   |
| ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー     | 1 名   |
| ス ク ー ル サ ホ ー ト ス タ ッ フ | 1 名   |
| 計                       | 5 9 名 |

| 職 名       |     |
|-----------|-----|
| 産 業 医     | 1 名 |
| 学 校 医     | 5 名 |
| 学 校 薬 剤 師 | 1 名 |
| 計         | 7 名 |

|     |       |
|-----|-------|
| 合 計 | 6 6 名 |
|-----|-------|

## 5. 学級数・児童生徒数

(令和3年5月1日現在)

### (1) 学級数

|      | 小学部 | 中学部 | 高等部 | 計  |
|------|-----|-----|-----|----|
| 普通学級 | 0   | 3   | 4   | 7  |
| 重複学級 | 1   | 4   | 6   | 11 |
| 計    | 1   | 7   | 10  | 18 |

### (2) 学部学年別児童生徒数(名)

| 小学部  | 学年   | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 | 中学部 | 1年 | 2年 | 3年 | 計  | 高等部 | 1年 | 2年 | 3年 | 計 | 合計 |
|------|------|----|----|----|----|----|----|---|-----|----|----|----|----|-----|----|----|----|---|----|
|      | 普通学級 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 |     | 0  | 2  | 1  | 2  |     | 5  | 7  | 9  | 8 |    |
| 重複学級 | 0    | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 2  | 2 | 1   | 3  | 4  | 8  | 5  | 6   | 4  | 15 | 25 |   |    |
| 計    | 0    | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 2  | 2 | 3   | 4  | 6  | 13 | 12 | 15  | 12 | 39 | 54 |   |    |

### (3) 出身地別児童生徒数(名)

| 出身地域 |      | 小学部  | 中学部 | 高等部 | 計  |   |
|------|------|------|-----|-----|----|---|
| 和歌山県 | 和歌山市 |      |     | 3   | 3  |   |
|      | 海南市  |      |     | 1   | 1  |   |
|      | 有田市  | 1    | 1   |     | 2  |   |
|      | 御坊市  |      |     | 9   | 9  |   |
|      | 田辺市  |      | 2   | 8   | 10 |   |
|      | 新宮市  |      |     |     |    |   |
|      | 有田郡  | 広川町  |     |     |    |   |
|      |      | 有田川町 |     | 1   | 1  | 2 |
|      | 日高郡  | 日高町  |     | 2   |    | 2 |
|      |      | 美浜町  |     | 1   | 2  | 3 |
|      |      | 由良町  |     |     |    |   |
|      |      | 日高川町 |     | 1   | 5  | 6 |
|      |      | みなべ町 |     | 1   | 4  | 5 |
|      | 西牟婁郡 | 上富田町 |     |     |    |   |
| 白浜町  |      |      |     |     |    |   |
| 東牟婁郡 | 串本町  |      |     |     |    |   |
| 大阪府  |      | 1    | 4   | 3   | 8  |   |
| 兵庫県  |      |      |     |     |    |   |
| 愛媛県  |      |      | 1   |     | 1  |   |
| 福岡県  |      |      |     | 1   | 1  |   |
| 奈良県  |      |      |     | 1   | 1  |   |
| 計    |      | 2    | 14  | 38  | 54 |   |



## 6. 教育課程

### 《一学部（小学部、中学部、高等部の重複学級）》

＜1 類型＞自立活動及び領域・教科を合わせた指導を中心に学習を行うグループ

＜2 類型＞「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」  
を基準に学習を行うグループ

#### (1) 小学部

##### 〈教育課程表〉

|                  | コース<br>学 年 | 1 類型         | 2 類型         |          |
|------------------|------------|--------------|--------------|----------|
|                  |            | 1年～6年        | 1・2年         | 3年～6年    |
| 教 科              | 国 語        |              | ○            | ○        |
|                  | 社 会        |              |              | ○        |
|                  | 算 数        |              | ○            | ○        |
|                  | 理 科        |              |              | ○        |
|                  | 生 活        |              | ○            |          |
|                  | 音 楽        |              | ○            | ○        |
|                  | 図 工        |              | ○            | ○        |
|                  | 小 計        |              |              | 12～14 ※2 |
| 特別の教科・道徳         |            | 合わせた指導において指導 | ○            |          |
| 自立活動             |            | 9～11 ※1      | 7～9 ※2       | 7～9 ※2   |
| 特別活動             |            | 必要に応じて不定期に実施 | 必要に応じて不定期に実施 |          |
| 外国語活動            |            | 合わせた指導において指導 | ○ ※3         |          |
| 領域・教科を<br>合わせた指導 | 日常生活の指導    | 5            | 5            | 5        |
|                  | 遊び活動       | 10～12 ※1     |              |          |
| 合 計              |            | 26           | 26           |          |

※1 児童の実態に応じて、遊び活動の時間数を設定。その際は、自立活動の時間数との合計が21時間となるようにする。

※2 児童の実態に応じて、教科及び時間数を設定。その際は、自立活動の時間数との合計が21時間となるようにする。

※3 外国語活動の時間数は、教科指導の時間内（12～14）で個に応じて設定する。

## 【小学部】 各指導のねらい

### ア 領域・教科を合わせた指導

#### <日常生活の指導>

- (ア) 学校生活リズムの定着を図る。
- (イ) 教師や仲間と関わる力を育てる。

#### <遊び活動>

- (ア) 外界からの刺激を受け入れ、興味関心を広げる。
- (イ) 人や物と関わる力や自分の思いを表現する力を育てる。
- (ウ) 情動の変化を促し、豊かな感受性を育てる。

### イ 自立活動

- (ア) 健康なからだをつくる。
- (イ) 自らのからだに対する意識を高める。
- (ウ) 人との関わりを通して、情緒の安定を図るとともに、コミュニケーションの基礎的能力を育てる。
- (エ) 保有する様々な感覚を活用し、外界に気づく力を育てる。

### ウ 特別活動

- (ア) 多様な集団に参加する機会を持ち、さまざまな経験を広める。

### エ 各教科

- (ア) 基礎的な知識の習得を図る。
- (イ) 学習を通して生活の幅を広げるとともに、表現力、思考力を育てる。

(2) 中学部・高等部

〈教育課程表〉

|                  | コース     | 1 類型         | 2 類型         |
|------------------|---------|--------------|--------------|
| 教科別の指導           | 国 語     |              | ○            |
|                  | 社 会     |              | ○            |
|                  | 数 学     |              | ○            |
|                  | 理 科     |              | ○            |
|                  | 音 楽     |              | ○            |
|                  | 美 術     |              | ○            |
|                  | 外国語     |              | ○            |
|                  | 小 計     |              | 12~14 ※5     |
| 自立活動             |         | 9~11 ※4      | 7~9 ※5       |
| 道 徳              |         | 教育活動全体を通じて指導 | 教育活動全体を通じて指導 |
| 特別活動             |         | 必要に応じて不定期に実施 | 必要に応じて不定期に実施 |
| 領域・教科を<br>合わせた指導 | 日常生活の指導 | 5            | 5            |
|                  | 課題活動    | 10~12 ※4     |              |
| 合 計              |         | 26           | 26           |

※4 生徒の実態に応じて、課題活動の時間数を設定。その際は、自立活動の時間数との合計が21時間となるようにする。

※5 生徒の実態に応じて、教科及び時間数を設定。その際は、自立活動の時間数との合計が21時間となるようにする。

## 【中学部・高等部】各指導のねらい

### ア 領域・教科を合わせた指導

#### <日常生活の指導>

- (ア) 学校生活に見通しを持ち、主体的に活動する力を高める。
- (イ) 自分の役割を理解し、仲間の活動にも意識を向ける力を高める。

#### <課題活動>

- (ア) 興味関心の幅を拡げ、主体的に学習する意欲を高める。
- (イ) 人や物に主体的に関わる力を高め、将来を豊かに生きる力を育てる。
- (ウ) 豊かな感受性を育て、自分の思いを表現する力を高める。

### イ 自立活動

- (ア) 運動機能の維持および向上、体力の保持を図る。
- (イ) 自らのからだに対する意識を高め、コントロールする力を身につける。
- (ウ) 人との関わりを通して気持ちの共有を図り、コミュニケーション能力を高める。
- (エ) 保有する様々な感覚を活用し、環境を把握する力を育てる。

### ウ 特別活動

- (ア) 多様な集団でも自分の力を発揮し、さまざまな人や物と関わることができる。
- (イ) さまざまな活動の中で、仲間意識を高める。

### エ 各教科

- (ア) 基礎的な知識や技能の習得を通し、日常生活に活用できる力を養う。
- (イ) 将来を豊かに生きることを目指し、思考力、表現力を養う。

《二学部》

(1) 小中学部

〈小学部教育課程表〉

|           | 学 年<br>コ ー ス | 1年 |    | 2年 |    | 3年 |    | 4年 |    | 5年 |    | 6年 |    |
|-----------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|           |              | A  | B  | A  | B  | A  | B  | A  | B  | A  | B  | A  | B  |
| 教<br>科    | 国 語          | 7  | 6  | 8  | 6  | 6  | 5  | 6  | 5  | 4  | 4  | 4  | 4  |
|           | 社 会          |    |    |    |    | 2  | 2  | 2  | 2  | 3  | 2  | 3  | 2  |
|           | 算 数          | 4  | 3  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  |
|           | 理 科          |    |    |    |    | 2  | 2  | 3  | 2  | 3  | 2  | 3  | 2  |
|           | 生 活          | 3  | 3  | 3  | 3  |    |    |    |    |    |    |    |    |
|           | 音 楽          | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  | 1  | 1  |
|           | 図 工          | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |
|           | 家 庭          |    |    |    |    |    |    |    |    | 1  | 1  | 1  | 1  |
|           | 体 育          | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |
|           | 外国語          |    |    |    |    |    |    |    |    | 2  | 2  | 2  | 2  |
| 特別の教科・道徳  | 1            | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |    |
| 自 立 活 動   | 3            | 5  | 3  | 5  | 3  | 5  | 3  | 5  | 3  | 5  | 3  | 5  |    |
| 特 別 活 動   | 1            | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |    |
| 総合的な学習の時間 |              |    |    |    | 2  | 1  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |    |
| 外国語活動     |              |    |    |    | 1  | 1  | 1  | 1  |    |    |    |    |    |
| 合 計       |              | 25 | 25 | 26 | 26 | 28 | 28 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 | 29 |

\*生徒の疾病及び健康状態（生活規制等）による履修について  
生徒の実態によって、A、Bいずれかの履修を行う。  
また、健康状態によっては総授業時数を減じて履修を行う。

〈中学部教育課程表〉

|           | 学 年<br>コ ー ス | 1年 |    | 2年 |    | 3年 |    |
|-----------|--------------|----|----|----|----|----|----|
|           |              | A  | B  | A  | B  | A  | B  |
| 教<br>科    | 国 語          | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  |
|           | 社 会          | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |
|           | 数 学          | 3  | 2  | 3  | 2  | 3  | 2  |
|           | 理 科          | 3  | 2  | 3  | 2  | 3  | 2  |
|           | 音 楽          | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |
|           | 美 術          | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |
|           | 技術家庭         | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |
|           | 保健体育         | 2  | 1  | 2  | 1  | 2  | 1  |
|           | 外国語          | 3  | 2  | 3  | 2  | 3  | 2  |
| 自 立 活 動   | 5            | 6  | 5  | 6  | 5  | 6  |    |
| 特別の教科・道徳  | 1            | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |    |
| 特 別 活 動   | 1            | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |    |
| 総合的な学習の時間 | 2            | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |    |
| 合 計       |              | 29 | 26 | 29 | 26 | 29 | 26 |

\*生徒の疾病及び健康状態（生活規制等）による履修について  
生徒の実態によって、A、Bいずれかの履修を行う。  
また、健康状態によっては総授業時数を減じて履修を行う。

【小学部・中学部】 各教科（科目）・領域（自立活動・特別活動）・総合的な学習の時間の  
ねらい

ア 各教科（科目）

- （ア） 基礎的・基本的な知識・技能の習得をとおり、それらを活用し課題解決のための思考力・判断力・表現力を育てる。
- （イ） 児童生徒の特性に応じ体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- （ウ） 個々の児童生徒の特性に応じた自立をめざし、自立活動の指導との関連を図る。

イ 自立活動

- （ア） 自分の病気に対する理解を促し、主体的な自己コントロールの力を養う。
- （イ） 自己理解を促し問題解決能力を育てるとともに、情緒の安定を図る。

ウ 特別活動

- （ア） 行事の企画や運営などをおして、自主性や社会性、協調性を養う。
- （イ） 集団活動の中で多面的に自己を捉えさせ、適性を知るとともに、主体的に行動できる力を育む。

エ 総合的な学習の時間

- （ア） 探究的な活動をおして、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
- （イ） 表現活動や研究活動を通じて、自ら考え、意欲的に取り組む力を育み、仲間や集団の中で「生きる力」の実現を目指す。

(2) 高等部

〈教育課程表〉

| 類 型                        |                  | 標準<br>単位数 | I   |     |     | II  |     |     | III |     |     |   |
|----------------------------|------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| 学 年                        |                  |           | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 |   |
| 教<br>科<br>・<br>科<br>目      | 国<br>語           | 国語総合      | 4   | 3   |     |     | 3   |     |     | 2   | 2   |   |
|                            |                  | 国語現代文A    | 2   |     |     |     |     |     |     |     |     | 2 |
|                            |                  | 国語現代文B    | 4   |     | 2   | 2   |     | 2   | 2   |     |     |   |
|                            |                  | 古典A       | 2   |     | 1   | 1   |     | 1   | 1   |     |     |   |
|                            |                  | 古典B       | 4   |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 地<br>理<br>歴<br>史 | 世界史A      | 2   |     | 2   |     |     | 2   |     |     | 2   |   |
|                            |                  | 世界史B      | 4   |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 日本史A      | 2   |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 日本史B      | 4   |     | 2   | 2   |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 地理A       | 2   |     |     |     |     |     | 2   |     |     | 2 |
|                            | 公<br>民           | 現代社会      | 2   | 2   |     |     | 2   |     |     | 2   |     |   |
|                            |                  | 倫理        | 2   |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 政治経済      | 2   |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 数<br>学           | 数学I       | 3   | 3   |     |     | 3   |     |     | 2   | 2   |   |
|                            |                  | 数学II      | 4   |     | 2   | 2   |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 数学III     | 5   |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 数学A       | 2   |     | 2   |     |     | 2   |     |     |     |   |
|                            |                  | 数学B       | 2   |     |     | 2   |     |     |     |     |     |   |
|                            |                  | 数学活用      | 2   |     |     |     |     |     | 2   |     |     | 2 |
|                            | 理<br>科           | 科学と人間生活   | 2   | 2   |     |     | 2   |     |     | 2   |     |   |
| 物理基礎                       |                  | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 物理基礎                       |                  | 4         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 化学基礎                       |                  | 2         |     | 2   |     |     | 2   |     |     |     |     |   |
| 化学基礎                       |                  | 4         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 生物基礎                       |                  | 2         |     |     | 2   |     |     | 2   |     | 2   |     |   |
| 生物基礎                       |                  | 4         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 地理基礎                       |                  | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 保<br>健<br>体<br>育           | 理科課題研究           | 1         |     |     |     |     |     |     |     |     | 2   |   |
|                            | 体育               | 7~8       | 2   | 2   | 3   | 2   | 2   | 3   | 2   | 2   | 3   |   |
| 芸<br>術                     | 音楽I              | 2         | * 2 |     |     | * 2 |     |     | * 2 |     |     |   |
|                            | 音楽II             | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 音楽III            | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 美術I              | 2         | * 2 |     |     | * 2 |     |     | * 2 |     |     |   |
|                            | 美術II             | 2         |     | * 2 | * 2 |     | * 2 | * 2 |     | * 4 | * 4 |   |
|                            | 美術III            | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 書道I              | 2         | * 2 |     |     | * 2 |     |     | * 2 |     |     |   |
|                            | 書道II             | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 外<br>国<br>語                | 書道III            | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | コミュニケーション英語基礎    | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | コミュニケーション英語I     | 3         | 3   |     |     | 3   |     |     | 3   |     |     |   |
|                            | コミュニケーション英語II    | 4         |     | 2   | 2   |     | 2   | 2   |     |     |     |   |
|                            | コミュニケーション英語III   | 4         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 英語表現I            | 2         |     |     | 2   |     |     |     |     | 2   |     |   |
|                            | 英語表現II           | 4         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 家<br>庭                     | 英語会話             | 2         |     |     |     |     |     |     |     |     | 2   |   |
|                            | 家庭基礎             | 2         | 2   |     |     | 2   |     |     | 1   | 1   |     |   |
|                            | 家庭総合             | 4         |     | 2   | 2   |     | 2   | 2   |     |     |     |   |
| 情<br>報                     | 生活デザイン           | 4         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
|                            | 社会と情報            | 2         | 2   |     |     | 2   |     |     | 1   |     | 1   |   |
| 学<br>校<br>設<br>定<br>科<br>目 | 情報の科学            | 2         |     |     |     |     | 2   |     |     |     |     |   |
|                            | 産業社会と人間          | 2         |     |     |     |     | 2   |     |     |     |     |   |
|                            | 国語基礎(国)          | 2         |     |     |     |     |     |     |     | * 2 |     |   |
|                            | 生活と文化(社)         | 2         |     |     |     |     |     |     |     | * 2 |     |   |
|                            | 地球環境(理)          | 2         |     |     |     |     |     |     |     | * 2 |     |   |
|                            | 異文化理解(外)         | 2         |     |     |     |     |     |     |     | * 2 |     |   |
|                            | 生活と福祉(家)         | 2         |     |     |     |     |     |     |     | 2   |     |   |
| 発達と保育(家)                   | 2                |           |     |     |     |     |     |     | * 2 |     |     |   |
| 小 計                        |                  |           | 2 2 | 2 2 | 2 2 | 2 2 | 2 2 | 2 2 | 1 8 | 1 8 | 1 8 |   |
| 総合的な探究の時間(1・2年)            |                  | 3~6       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |   |
| 総合的な学習の時間(3年)              |                  |           | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |   |
| 自立活動                       |                  |           | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   |   |
| 履修単位数合計                    |                  |           | 2 9 | 2 9 | 2 9 | 2 9 | 2 9 | 2 9 | 2 5 | 2 5 | 2 5 |   |
| 特別活動(HR活動)                 |                  | 3         | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |
| 総合計                        |                  |           | 3 0 | 3 0 | 3 0 | 3 0 | 3 0 | 3 0 | 2 6 | 2 6 | 2 6 |   |

(注) ・生徒の実態によって類型I・II・IIIを選択する。

・\*は選択科目。類型I、IIの芸術及び学校設定科目の\*科目については、それぞれ1科目選択する。

類型IIIの第2学年時以降の芸術は、2科目選択する。

## 【高等部】各教科（科目）、自立活動、特別活動、総合的な探究の時間のねらい

### ア 各教科（科目）

- （ア）基礎的・基本的な知識を習得し、自らの課題を解決するための思考力、判断力を養う。
- （イ）教科学習をとおして、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- （ウ）卒業後の生活や進路を見すえて、幅広い考え方や技能の習得を図る。

### イ 自立活動

- （ア）教育活動全体をとおして自立を図るために必要な知識、技能、態度を養う。
- （イ）自分の病気を理解し、生活を管理することができる力を養う。
- （ウ）自他の理解や自尊感情を高めるとともに、コミュニケーションに必要な基礎的能力の向上を図り、社会参加の基盤を培う。

### ウ 特別活動

- （ア）行事の企画や運営などをとおして、自主性や社会性、協調性を養う。
- （イ）集団活動や行事参加をとおして集団への所属感を育むとともに、よりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

### エ 総合的な探究の時間

- （ア）就業体験活動をとおして、集団の中で望ましい人間関係の育成を図る。
- （イ）表現活動や探求活動を通じて、自ら考え、意欲的に取り組む力を育み、仲間や集団の中で「生きる力」の実現を目指す。



『道徳教育』全体計画

和歌山県立みはま支援学校



## 7. 教育相談

### 1 目的

幼児児童生徒及びその保護者や保育、教育関係者等に対して、さまざまな相談に対応し、教育的な側面からの助言・支援を行う。また、関係諸機関との連携を図り、日高地方の特別支援教育及び県内の病弱・身体虚弱教育における相談・指導に関するセンター的機能を担うことを目的とする。

### 2 相談の内容

- ① 病弱・身体虚弱（喘息、アトピー、腎炎、糖尿病、心臓病、肥満症、心身症等）や重度重複障害のある幼児児童生徒の指導及び教育について
- ② 心因性による身体的疾病のある不登校傾向の児童生徒の指導及び教育について
- ③ 発達障害のある児童生徒の指導及び教育について
- ④ 特別支援学校の教育全般について
- ⑤ 生活・医療・福祉等に関することについて

### 3 相談の形態及び相談日

- ① 来校相談      相談者が本校に来校して行う。  
                  \*月曜日～金曜日（要予約）  
                  学校見学（随時）
- ② 電話相談      電話による相談（随時）
- ③ 訪問相談      保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の要請により  
                  コーディネーター及び教育相談担当者が訪問して行う。  
                  \*訪問日は調整の上決定

### 4 相談担当者

- ① 支援部教育相談担当者・コーディネーター
- ② 学部主事・養護教諭等

## 8. みはま支援学校の対象児童生徒

【学校教育法施行令第22条の3の表中、病弱者に該当するもの】

(1) 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物、その他の疾患の状態が継続して医療<sup>※1</sup>又は生活規制<sup>※2</sup>を必要とする程度のもの。

(2) 身体虚弱の状態が継続して生活規制<sup>※3</sup>を必要とする程度のもの。

※1 病弱で「継続して医療を必要とするもの」とは、病気のため継続的に医師からの治療を受ける必要のあるもので、医師の指導に従うことが求められ、安全面及び生活面への配慮の必要度が高いものをいう。

※2 病弱で「継続して生活規制を必要とするもの」とは、安全及び生活面の配慮の必要度が高く、日常生活に著しい制限を受けるものの、継続して医師の治療を受ける必要はないものをいう。

※3 身体虚弱で「継続して生活規制を必要とするもの」とは、病弱ではないものの、安全面や生活面について配慮する必要性が高く、日常生活上において著しい制限を必要とするもの。

## 9. 進路指導

### 1 基本方針

進路学習および教育活動全体をとおして、自己認識や将来の進路に対する認識を深め、生徒が適切な進路選択ができるよう、指導・支援する。

### 2 指導にあたっての留意点

- ・進路希望調査や進路面談を通じて、本人・保護者の進路希望を的確に把握することに努める。
- ・日常の教育活動において学力、自己理解、対人関係、コミュニケーション、疾病理解とそのコントロールなど社会生活を送る上で必要な力の育成に努める。
- ・直接的に体験できる機会として、職場見学や職場体験実習の充実に努める。
- ・ハローワークや障害者就業・生活支援センターなど、関係機関との連携を重視する。
- ・事業所や関係機関に対し、様々な機会を通じて本校や病弱児教育に対する理解を深めてもらうよう努める。
- ・卒業にあたっては移行支援会議などを通して、生徒がスムーズに新生活に移行できるよう支援するとともに、アフターケアの充実に努める。

### 3 卒業生進路状況

#### 《中学部》

| 年 度  | 本校進学 | 他校進学 | 就 職 | 未 定 | 計 |
|------|------|------|-----|-----|---|
| 28年度 | 4    | 1    | 0   | 0   | 5 |
| 29年度 | 3    | 1    | 0   | 0   | 4 |
| 30年度 | 6    | 0    | 0   | 0   | 6 |
| 元年度  | 3    | 1    | 0   | 0   | 4 |
| 2年度  | 3    | 2    | 0   | 0   | 5 |

#### 《高等部》

| 年 度  | 進 学 | 就 職 | 入所施設 | 通所施設 | 和歌山病院 | 未 定 | その他 | 計 |
|------|-----|-----|------|------|-------|-----|-----|---|
| 28年度 | 3   | 0   | 0    | 2    | 2     | 0   |     | 7 |
| 29年度 | 0   | 0   | 0    | 2    | 4     | 0   |     | 6 |
| 30年度 | 1   | 0   | 0    | 1    | 3     | 1   | 1   | 7 |
| 元年度  | 0   | 2   | 0    | 2    | 1     | 1   |     | 6 |
| 2年度  | 2   | 2   | 0    | 1    | 2     | 0   | 1   | 8 |

(令和3年4月現在)

## 4 年間計画

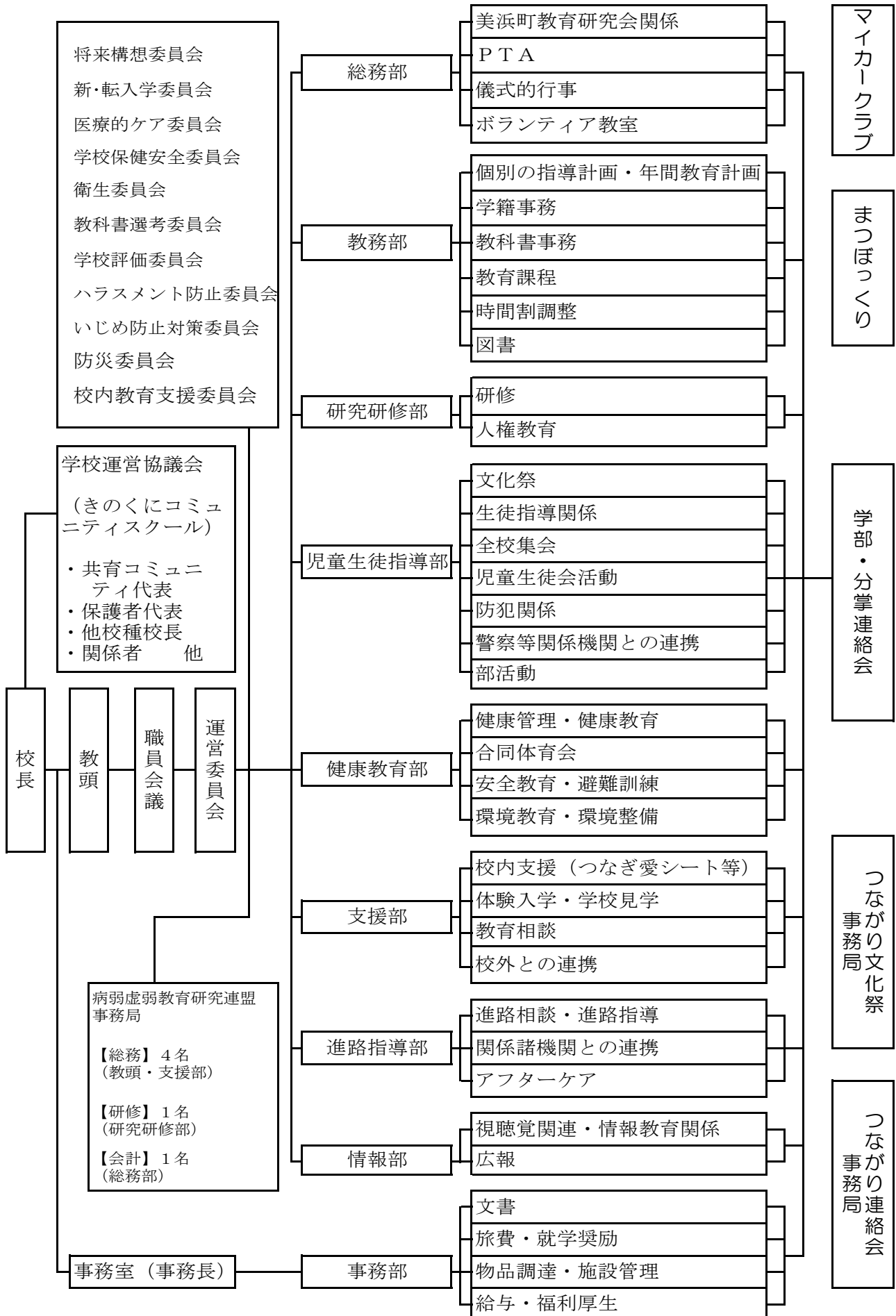
### 【中学部】

|             | 1年                       | 2年                       | 3年  |
|-------------|--------------------------|--------------------------|---|
| 1<br>学<br>期 | 進路説明会<br>進路希望調査<br>保護者懇談 | 進路説明会<br>進路希望調査<br>保護者懇談 | 進路説明会<br>進路希望調査<br>進路面談<br>学校見学・体験入学<br>保護者懇談 |
| 2<br>学<br>期 | 卒業生の話聴く会                 | 卒業生の話聴く会<br>職場体験実習（2日）   | 卒業生の話聴く会<br>体験入学<br>学校見学<br>進路面談              |
| 3<br>学<br>期 | 保護者懇談<br>進路希望調査          | 保護者懇談<br>進路希望調査          | 入学選考検査<br>進路決定<br>進路面談                        |

### 【高等部】

|             | 1年                       | 2年                         | 3年   |
|-------------|--------------------------|----------------------------|--|
| 1<br>学<br>期 | 進路説明会<br>進路希望調査<br>保護者懇談 | 進路説明会<br>進路希望調査<br>保護者懇談   | 進路説明会<br>進路希望調査<br>現場実習①<br>進路面談<br>保護者懇談            |
| 2<br>学<br>期 | 卒業生の話聴く会<br>職場見学         | 卒業生の話聴く会<br>職場体験実習<br>（3日） | 学校見学<br>卒業生の話聴く会<br>現場実習②<br>進路面談<br>就職試験<br>大学等推薦入試 |
| 3<br>学<br>期 | 進路希望調査<br>保護者懇談          | 進路希望調査<br>進路面談             | 大学等一般入試<br>進路面談<br>進路決定<br>移行支援会議                    |

# 10. 校務分掌表



## 11. 年間行事計画

| 月  | 学校全体                                     | 一学部  | 二学部  |
|----|--|--|--|
| 4  | 着任式・始業式 入学式<br>授業参観<br>PTA総会(書面表決)       |  | 対面式<br>オリエンテーション   |
| 5  | 創立記念日<br>学校見学                            | 校外学習(森林浴)<br>春の合同行事(病院合同)                        | 新入生歓迎会<br>中間考査<br>貧血予防教室                                 |
| 6  | 全校集会 避難訓練<br>救命救急法 体験入学(校内)<br>防犯訓練 医療相談 | 校外学習(森林浴)  | 主権者教育 がん教育<br>いじめアンケート                                   |
| 7  | 授業参観 保護者懇談会<br>終業式 保護者学級                 | 宿泊学習<br>夏の合同行事(病院合同)                             | 期末考査 性教育<br>睡眠教室 進路説明会<br>校外宿泊学習(中・高)                    |
| 8  | ボランティア教室                                 |  | 平和学習<br>職場体験学習(中学部)<br>先輩の話を聴く会<br>スマホ・ケータイ安全教室          |
| 9  | 始業式<br>全校集会 体験入学<br>医療相談 火災避難訓練          | 秋の合同行事(病院合同)                                     | 修学旅行(中、高2)<br>喫煙防止教室<br>社会見学(高等部)<br>救命救急法(中・高)          |
| 10 | 全校集会<br>移動水族館                            | 校外学習(森林浴)<br>社会見学<br>修学旅行(中3、高3)<br>秋の合同行事(病院合同) | 中間考査 食育教室<br>職場体験実習(高等部)<br>修学旅行(高3)<br>いじめアンケート         |
| 11 | 文化祭 全校集会<br>地震津波避難訓練                     | 校外学習(森林浴)  | おもしろ科学まつり<br>きのくにロボットフェスティバル選考会                          |
| 12 | 保護者学級<br>終業式                             | 冬の合同行事(病院合同)                                     | きのくにロボットフェスティバル<br>防災スクール<br>社会見学(中学部)<br>期末考査           |
| 1  | 始業式 授業参観<br>校内授業研<br>保護者学級 医療相談          |  | 消費者教育 学年末考査<br>いじめアンケート                                  |
| 2  | 保護者懇談会                                   |  | 職場見学(高等部)<br>卒業生を送る会<br>交通安全教室 主権者教育<br>薬物乱用防止教室<br>卒業遠足 |
| 3  | 高等部入学者選考検査<br>卒業証書授与式<br>修了式             |  |  |

## 12. 防災計画

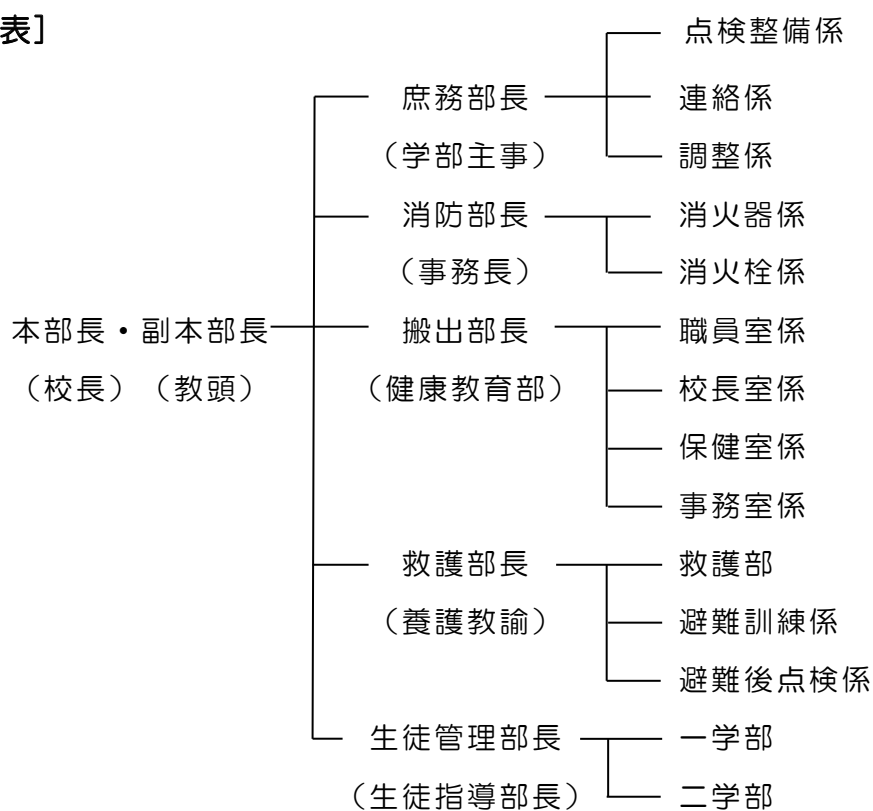
### (1) 目的

火災、震災、津波及びその他の災害の予防及び児童生徒の人命の安全並びに被害の軽減を図ることを目的とする。

### (2) 災害対策組織と業務分担

前項目的を達成するために、次のとおり職員による業務分担を行う。ただし、避難を最優先するものとする

#### [組織表]





### (3) 職員の配備体制及び召集

災害が発生した場合には、次により職員を招集又は待機させる。

(ア) A号体制（準備体制） 災害発生のおそれがあると予想されるが、時間、規模等を把握することが困難なとき。

○ 校長、教頭、事務長、学部主事。

(イ) B号体制 相当規模の災害が発生するおそれがあり、また発生したとき、災害に対する警戒または災害応急策を実施しなければならないとき。

○ 校長、教頭、事務長、学部主事、各部部長。

(ウ) C号体制（非常体制）大規模の災害が発生するおそれがあるとき、または発生したとき、学校が全力をあげて災害応急対策を実施する体制。

○ 全員

(エ) 教職員は、勤務時間外において災害が発生したとき、若しくは発生するおそれがあることを察知したとき、または配備体制の指令があったときは、特別の事情のある者を除き、すみやかに学校に参集する。

(オ) 職員及び児童生徒の緊急連絡

緊急連絡網を使って、緊急連絡を行う。

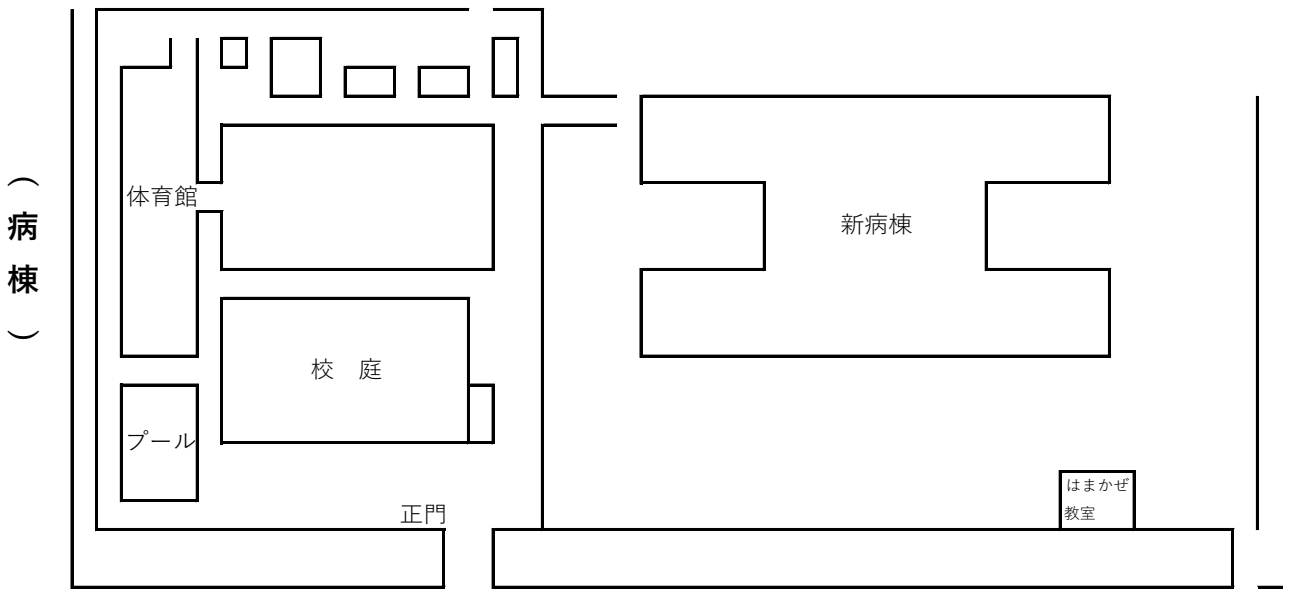
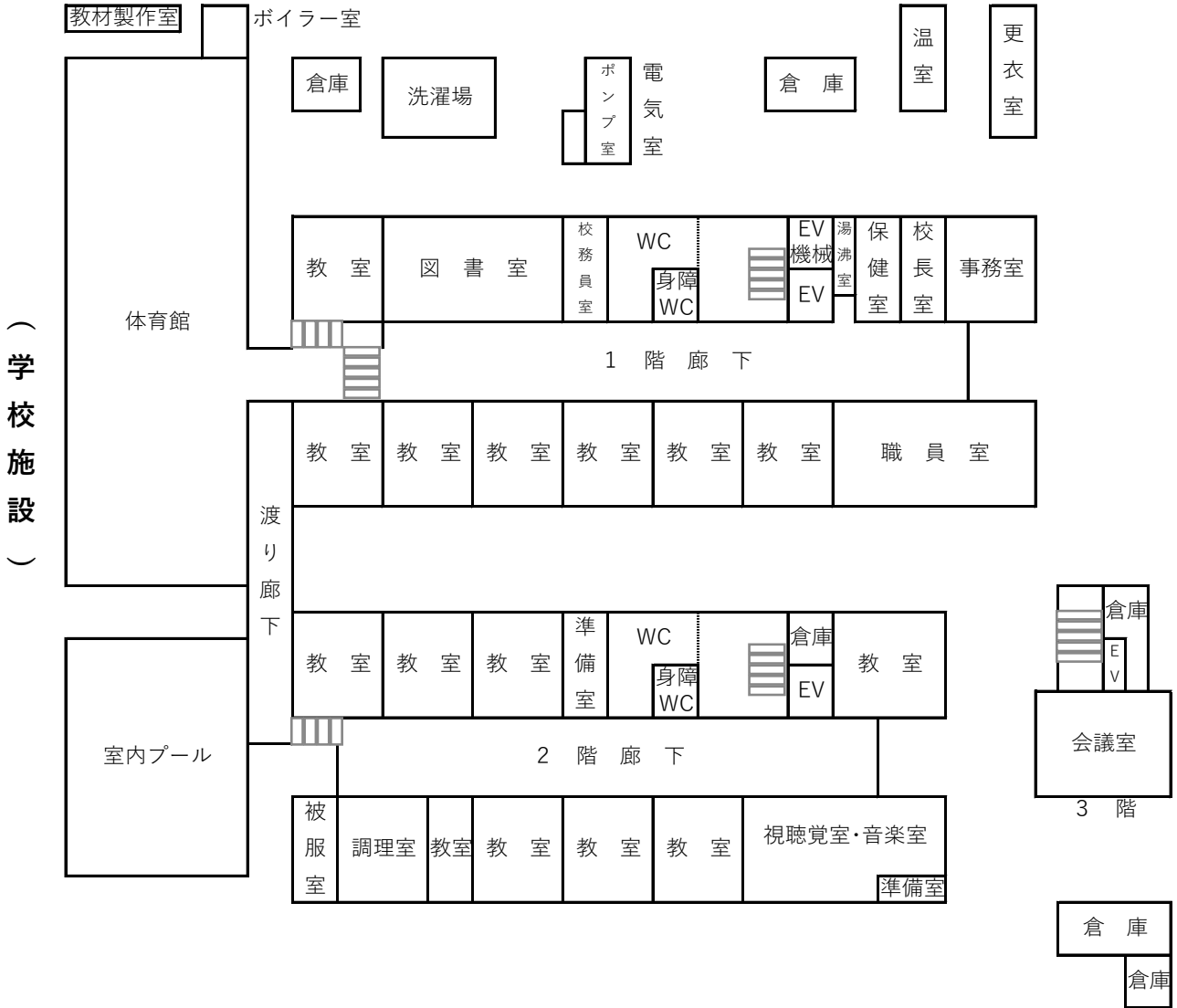
### (4) 風水害及び地震による災害の場合

(ア) 児童生徒に対する措置

午前6時00分現在において、美浜町に暴風・大雨・洪水・津波のいずれかの警報が発令されている場合は、自宅待機とする。また、自宅の市町村及び通学経路上の市町村にいずれかの警報が発令されている場合についても、該当児童生徒は自宅待機とする。尚、病院に入院している児童生徒についても同様の対応とする。

(イ) 教職員については、県条例等によりその都度、校長が指示する。

# 13. 施設配置図



松洋自衛隊線(町道)

《国立病院機構 和歌山病院》

# 案内図

## 和歌山県立みはま支援学校

所在地／〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田字松原1138の259

電話 / 0738-23-2379

F A X / 0738-22-9399

E-mail postmaster@mihama-sh.wakayama-c.ed.jp

URL http://www.mihama-sh.wakayama-c.ed.jp

交通機関／JR御坊駅下車、御坊南海バス(海猫島行き乗車)和歌山病院前下車、徒歩3分



